

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田喜代史
淡河恵津世
西山 佳宏

編集後記

▶ COVID-19 はなかなか終息しないようですが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。今月の特集はマルチモダリティ画像診断による冠動脈疾患の評価についてのもので、FFRCT といった新しい技術も保険収載となって近年著しく進歩し、注目されている領域です。

▶ 心臓は動きがあるために以前は優れた質の画像を取得することが困難で、1990 年代までは放射線科医が担当する他の領域の著しい進歩の後塵を拝するといった様相を呈していました。さらに、放射線科医が得意とする解剖学的な理解が比較的容易であるのに比べて病態の理解が難しいことも相まって、これまではむしろ循環器内科医が手がけることが多く、今回の特集の執筆者の中にも循環器内科医が多く見受けられます。マルチスライス CT の導入により 2000 年代に入るとこの様相が一変し、ルーチンの検査で良好な冠動脈の画像が得られるようになると放射線科医も次第に循環器画像診断に興味をもつようになり、最近ではこの領域を専門とする放射線科の教授も増えています。prospective gating の技術により当初懸念された被ばくの問題も克服され、ルーチンの CT で形態情報と機能情報の双方を得る one-stop shopping も視野に入りつつあります。撮像の高速化で新しい世界に踏み込んだ領域であるといえます。

▶ 高速化といえば、中央リニア新幹線の開業が遅れそうとのニュースが最近流れました。山梨県と長野県を結ぶ南アルプストンネルが一部静岡県を通過する部分で、大井川上流の地下水がトンネル内に湧き出ると標高の低い山梨県側に流れてしまい、大井川の水量が減る可能性が懸念されているためです。最終的には導水路で大井川に水を戻すようですが、工事期間中は山梨県に水が流れてしまうため、静岡県からの工事許可がありません。心臓 CT が被ばくの問題を克服したように、困難を克服して新幹線の高速化が実現し、東京、名古屋、大阪が 1 つの都市圏になる新しい世界に踏み込んでいくことに期待します。

橋本 順

「臨床放射線」第 65 巻 第 7 号

2020 年 7 月 10 日発行（毎月 10 日発行）

定価（本体 2,600 円＋税）

年間購読料金 定価（本体 39,700 円＋税）

[年間 13 冊（臨時増刊号を含む）の誌代]

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600

FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。